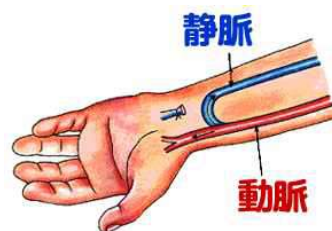


## ・シャントとは

血液透析を行うには、まずシャントが必要となります。シャントとは、静脈を動脈に縫い合わせてつなぐことにより、動脈血を直接静脈に流すことをいいます。



腎機能の低下により体に老廃物が蓄積されるようになり、それらを取り除くために透析が必要となります。十分な透析を行うためには1分間に約150～200mlの血液を循環させなければなりません。しかし本来ある静脈には、透析を行えるだけの十分な血液量がありません。



シャントを作ることによって、静脈に十分な血液が流れ、その静脈に穿刺し血液透析が行われます。シャントは血液透析をするためになくてはならない大切なものです。

## ・シャントの手術について

降圧剤、インスリン、抗血小板剤などを服用されている方は、事前に医師に御相談下さい。

術前の飲食は控え、軽食にして下さい。

### 手術前

- ・より良いシャントを作るため、エコーで動脈・静脈それぞれの性状を確認します。その際マジックでしるしを付けます。(術前マーキング)
- ・医師より手術の説明があります。(手術部位など)
- ・手術衣に着替え、4階手術室まで看護師と共に移動します。

## 手術室にて

- ・手術する上肢を丁寧に洗います。
- ・手術は、局所麻酔によって行われ、約1時間で終わります。
- ・必要に応じて、手術したシャント肢の屈曲を防止するため、シーネ(添え木)で固定します。



## 手術後

- ・術後、約1時間は安静とし、何度かシャント音を聞きます。また、創状態の観察、血圧測定など行います。
- ・麻酔が徐々に薄れ、痛みが出現します。痛みがひどければおっしゃってください。鎮痛剤をお渡しします。
- ・シャント肢に余分な力を加えないようにして下さい。
- ・軽食して頂いて結構です。
- ・術後、出血が止まらなかったり、シャントが閉塞してしまった場合再手術となる可能性があります。
- ・医師の診断を受け、異常がなければ帰っていただきます。痛み止めと抗生剤の飲み薬3日分処方する場合があります。医師の情報提供書をお渡しします。

## 手術日以降

- ・術後、約一週間で抜糸となります。通常抜糸まで創部の消毒は必要ありませんが、必要に応じて消毒します。
- ・抜糸後、異常がなければ入浴可能です。それまではシャワー浴にして下さい。

創部が濡れたり汚れたりしないよう注意し、ガーゼが汚染した時は交換して下さい。

## ．術後の注意

日常生活で注意していただくことは、閉塞・感染・出血を予防することです。

### 閉塞してしまうと・・・

- \* シャント音が聴診器で聴き取れなくなります。  
(または音が弱くなります)
- \* シャント部に痛みを感じるなどの、自覚症状が出てきます。



早く発見できれば、『再手術せずに処置で復活』ということもあるので、気付いた時は早めに、医師・看護師にお知らせください。

### 閉塞の予防法

起床時、寝る前などにシャント音を聴診器で聞き、指で触れて血流のスリル（流れの拍動を確認しましょう）。

シャントに負担をかけないように圧迫を避けましょう。

- シャント肢の 血圧測定
- 手枕
- 重い物をぶらさげる
- ...などは禁止



透析の針を刺す位置を、毎回できるだけ変えてもらうようにしましょう。

体重の増えすぎによる極端な除水は避けましょう。

透析後の止血ベルトは、できるだけ早めにはずしましょう。

シャントを作った部位の筋肉運動を行い、血行を良くして血管を発達させましょう。  
(例：ボール運動・ハンドグリップ など)



## 感染を起こすと・・・

- \* 針を刺した周りが赤く腫れる
- \* シャントの部位が痛い
- \* シャントのところに熱を感じる
- \* 針を刺したところなどから膿が出る

### 感染の予防方法

かき傷を作らないようにしましょう。

透析を受ける前には、シャントの周りを石鹸などでよく洗い流しましょう。



針穴を保護しているガーゼが濡れたり、汚れたり、血液でにじんでいるときは、刺したところを消毒して、新しいガーゼに交換します。

ガーゼは、血が止まっていることを確かめてから、寝る前、もしくは翌朝に外して下さい。

透析をした日は入浴禁止です。(シャワーはOK)



## シャント出血

### 外出血について

穿刺部位からの再出血は一度消毒して、きれいな新しいガーゼに交換して圧迫止血します。出血時は看護師に連絡してください。

### 内出血について

透析の針を刺した時の漏れ、また、抜いた時の止血が不十分であると、皮膚が赤黒くなり、痛みや腫れを伴うことがあります。  
当日は患部を冷やしますが、シャントの創のところは冷やしません。  
翌日からは温めると吸収を促して痛みを和らげ、治癒も促してくれます。  
また、湿布なども有効です。

## スチール症候群

シャント側の手先が冷たく感じる時があります。  
痛み・腫れを伴うときもあります。これはスチール症候群といって、シャントへ動脈血がよく流れるようになったことによって、指先の方向への動脈血流が減少した為に起こる現象です。  
これらの症状がある時は医師・看護師に御相談ください。

適切な自己管理ができるよう、異常の早期発見・予防・対処法などを身につけておきましょう。

### シャントの自己管理

